



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月13日

上場会社名 アーキテック・スタジオ・ジャパン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6085 URL <http://www.asj-net.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部・事業開発本部所管 (氏名) 長尾 康三 (TEL) 06-6363-5701
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	909	△2.1	△128	—	△109	—	△110	—
29年3月期第3四半期	928	△2.8	△142	—	△141	—	△331	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	△69.06		—					
29年3月期第3四半期	△207.46		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,221	963	78.8
29年3月期	1,369	1,044	76.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 963百万円 29年3月期 1,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,379	0.1	2	—	2	—	0	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	1,614,750株	29年3月期	1,596,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	42株	29年3月期	42株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	1,605,776株	29年3月期3Q	1,596,000株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加とともに、個人消費の持ち直しや雇用環境の改善が続いており、景気は引き続き緩やかな回復基調のもと推移いたしました。

住宅業界におきましては、住宅ローン金利は低水準で推移しているものの、住宅建設は全般に低調な動きとなり、持家の着工戸数は前年同月比7か月連続の減少となっております。

当社はこのような状況の中、建築家情報空間「ASJ CELL」における著名建築家作品展示会及びセミナー来場者や提携先等の紹介によって獲得した富裕層を中心としたアカデミー会員へ直接的な働きかけにより顧客満足度を高め、登録建築家とパートナー建設会社の受注促進に寄与し、工事請負契約ロイヤリティの増収を図ってまいりました。

また、ホームページにおける顧客サービスサイトの機能を拡充し、有益な建築デザインコンテンツを配信しサイトの価値向上を図ることでウェブユーザーへの需要喚起と新規アカデミー会員の獲得を推進いたしました。さらに、ウェブ経由で獲得した会員に対し非対面方式でのプランニングコース（Web PC）を立ち上げ、ウェブ会員の行動様式に適したサービスを開始いたしました。

これらの諸施策の結果、直営部門によるパートナー建設会社の工事請負契約金額、同単価及び同ロイヤリティ料率は向上し、工事請負契約ロイヤリティ売上を牽引いたしました。売上全体としては加盟スタジオによる会員獲得から工事請負契約の受注に至る従来型サプライチェーンの成長鈍化傾向を補うまでには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は909,011千円（前年同四半期比2.1%減）となりました。一方、当社では、加盟建設会社の倒産等により工事の継続が不能となった場合において、当社保証約款に基づき当該物件の完成・引渡しにかかる費用の一部を当社が保証するサービスを提供しておりますが、当該保証サービスの発生額並びに将来の損失に備えるため、工事完成保証損失引当金繰入額44,400千円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。この結果、損益面については、営業損失は128,008千円（前年同四半期営業損失142,365千円）、経常損失は109,796千円（前年同四半期経常損失141,863千円）となり、四半期純損失は110,894千円（前年同四半期純損失331,099千円）となりました。

なお、当社はASJ建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,221,799千円となり、前事業年度末と比べて148,069千円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、172,291千円減少し、880,097千円となりました。これは主として現金及び預金の増加54,437千円、売掛金の減少190,046千円、未収入金の減少67,253千円、貸倒引当金の減少36,767千円等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ、24,222千円増加し、341,702千円となりました。これは主にソフトウェア仮勘定の増加11,360千円、投資その他資産の増加17,459千円等によるものであります。

負債合計は258,561千円となり、前事業年度末と比べて67,174千円減少いたしました。

流動負債は前事業年度末に比べ、67,174千円減少し、258,561千円となりました。これは主に未払金の減少71,743千円等によるものであります。

純資産は963,238千円となり、前事業年度末と比べて80,894千円減少いたしました。これは四半期純損失110,894千円、資本金の増加15,000千円、資本剰余金の増加15,000千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,733	605,171
売掛金	308,619	118,573
商品	4,126	3,950
未収入金	186,327	119,074
その他	55,394	49,374
貸倒引当金	△52,813	△16,045
流動資産合計	1,052,389	880,097
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	110,760	103,325
工具、器具及び備品(純額)	3,421	2,232
有形固定資産合計	114,182	105,557
無形固定資産		
ソフトウェア	41,341	45,367
ソフトウェア仮勘定	6,729	18,090
無形固定資産合計	48,070	63,458
投資その他の資産		
差入保証金	114,616	110,754
その他	59,172	79,426
貸倒引当金	△18,561	△17,494
投資その他の資産合計	155,227	172,686
固定資産合計	317,480	341,702
資産合計	1,369,869	1,221,799
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,942	15,997
未払金	212,674	140,930
未払法人税等	6,870	3,079
賞与引当金	3,325	5,915
工事完成保証損失引当金	—	7,718
その他	79,923	84,920
流動負債合計	325,736	258,561
負債合計	325,736	258,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,755	427,755
資本剰余金	411,685	426,685
利益剰余金	219,759	108,865
自己株式	△66	△66
株主資本合計	1,044,133	963,238
純資産合計	1,044,133	963,238
負債純資産合計	1,369,869	1,221,799

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	928,304	909,011
売上原価	172,192	147,319
売上総利益	756,112	761,692
販売費及び一般管理費	898,477	889,700
営業損失(△)	△142,365	△128,008
営業外収益		
受取利息	214	211
保険返戻金	263	18,789
その他	24	11
営業外収益合計	502	19,012
営業外費用		
株式交付費	—	800
営業外費用合計	—	800
経常損失(△)	△141,863	△109,796
特別損失		
減損損失	187,946	—
特別損失合計	187,946	—
税引前四半期純損失(△)	△329,809	△109,796
法人税、住民税及び事業税	1,289	1,098
法人税等合計	1,289	1,098
四半期純損失(△)	△331,099	△110,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。